



Title	デザイン理論 73号 目次
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2019, 73
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/71181">https://hdl.handle.net/11094/71181</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

学術論文

- 銘木の評価基準と価値設定の研究  
—— ブランディングの観点から —— 岡田（泊里）涼子 1

- 近現代讃岐漆芸における意匠表現革新の背景  
—— 文化財保護法の制定及び日本伝統工芸展がもたらした影響 —— 佐々木千嘉 15

- 丸紅商店染織美術研究会に関する研究  
—— 近代図案教育に関する追跡調査 I 岡達也 29

研究報告

- かわいい論試論Ⅱ —— かわいい論の射程 —— 西村美香 43

- 田中一光《グラフィックアート植物園》について（式）  
—— 草木という題材 —— 輿石まおり 53

研究例会発表要旨

第234回 意匠学会研究例会 2018年5月12日 大阪大学

- ミシェル・ルグランの映画音楽 —— その機能についての一考察 —— 倉田麻里絵 64

- クリストファー・ドレッサーの装飾デザインにみる色彩論の展開 竹内有子 66

第235回 意匠学会例会 2018年9月29日 倉敷市芸文館

- 雑誌『藝術写真研究』における「光のリズム」の展開  
—— 1920 年代の言説を中心として —— 芦高郁子 68

- コペンハーゲンキャビネットメーカーズギルドによる展覧会について 多田羅景太 70

第60回大会 2018年8月8日～9日 同志社大学

錦光山の輸出事業について	上村友子	72
江戸後期から明治初期の絞り染め —— 江戸の浮世絵、京の古裂 ——	上田香	74
近代の絹と京都の機械捺染 —— デザインと技術をめぐって ——	上田文	76
「京都・図案・綾錦」から読み解く戦後京都の現代染色	福本繁樹	78
長野県の木工文化と農民美術：上田市の近代化から	石川義宗	80
1950年代の吉村順三の著作にみる伝統観について	羽藤広輔	82
エルサレムのペヴスナー エルサレム会議での経験と「優れたデザイン」の源泉としてのコンペティション	近藤存志	84
フランスのアール・ヌーヴォー建築に見るアーツ&クラフツの影響	廣瀬緑	86
労働者大学とモ里斯商会 —— 教育からデザインの現場へ	横山千晶	88
アイリーン・グレイの言説における論理構造：E.1027の「壁」	千代章一郎	90
装飾と透明 — 現代建築の外観デザインにおける透明性の表現をめぐって —	川島洋一	92
民族運動への共感 —— インド市場向け商標デザインの検証から	福内千絵	94
新商品開発におけるニーズ定義の様式と商品コンセプトの質の関係	畔柳加奈子	96
パネル発表		
「未来の動物の謝肉祭」 — 福井県立音楽堂開館20周年記念公演における映像と音楽の共演 —	川島洋一 松原かおり	98
デザイン教育における产学連携プロジェクト	細野幸敏 今井美樹	100
「個展+研究発表展 木で作り、木について研究する。」展覧会のデザイン	落合里麻	102

三味線に関するプロダクトデザインからの考察 —人と道具との新たな関係の構築を目指して —「Karakuri Shamisen」のデザイン制作	村井陽平 104
紙コップ積み上げアート・ワークショップ —こども福祉と大学入門教育の事例—	島先京一 106
京の伝統と現代の祈り	上田香 108
意匠学会第60回大会 記念シンポジウム デザインミュージアムの可能性	
デザインミュージアムの可能性 —建築博物館がない！—	五十嵐太郎 112
デザインミュージアムの可能性 —グラフィックデザインの立場から—	木戸英行 114
デザインミュージアムとそのコンテクスト	中坊壮介 116
書評	
桐浴邦夫著『茶の湯空間の近代 世界を見据えた和風建築』	谷本尚子 118
欧文要旨	120
入会申込書   発表申込書	126
投稿規程   執筆要領   投稿票	128
会報84号	131